
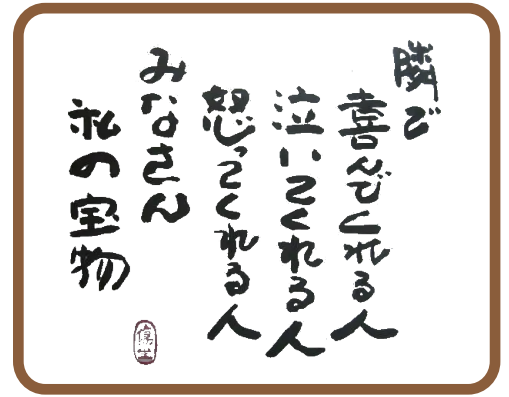


みなさん、今年最後のメッセージです。

今年は、寅年でした 

皆さんにとって 2022 年は、どんな年でしたか。  
てのひらにとっては、スタッフが一丸となって  
今年一年頑張り抜いた年であったと改めて  
感謝しています。



腰塚勇人さんの「命の授業」から

私は今年最後の締めくくりの実習をホームホスピスで、心に響く深い学びをさせてもらっています。

■少し紹介させていただきますね。

70代女性乳がんから骨メタ、全身まで転移、新しい年を迎えることできるかと言うところの方ですが、幼少期、別れた娘さんと最近再会して、娘さんも乳がんで加療中。  
時々来られる娘さんの関係作りにみなさん模索しています。

先日は、ご本人に食べたいものをお聞きしたら「ハンバーガー」と言われ、職員が買いに行きました。  
ハンバーガーを頬張りながら初めて笑顔になったようです。  
その時の記念写真を娘さんに見せるため印刷しています。  
家族さんとの調整役も常に、考えて話し合いされています。



娘さんは、

「母と親子らしい会話がしたいと」夜勤の職員にポロリと漏らしたそうです。

みなさん、毎日温かい配慮をされて、実習している私まで爽やかな、気持ちになり、周り全体を  
優しさで包み込んでいます。

娘さんとの会話中で、「覚悟していますから」との言葉が私の心に残っています。

「覚悟」

その言葉に、高貴な魂を感じています。

私は今年から来年にかけてのバトンを繋ぐ言葉として、「信念」「覚悟」を心に刻みたい。

てのひらの皆さんともじっくり話し合いをしたいです。

毎月の給与メッセージで、私の考え、想いを伝えています。

てのひらの宝物であるみなさん、今月もありがとうございました。